

KadaiDX塾ハンズオン初級編

川瀬 舞（香川大学 情報部 情報企画課 主任）
木村 悠佑（香川大学 情報部 情報システム課 主任）
岩河 朱音（香川大学 情報部 情報システム課 課員）
武田 啓之（香川大学 情報部 情報企画課 課長）
渡部 昌尚（香川大学 情報部 情報システム課 課長）

講師略歴

【川瀬舞】令和6年香川大学職員採用。令和4年からDX推進研究センター技能補佐員としてシステム内製開発の業務に従事。学内外向けのハンズオン（Microsoft Power Platformを使用した内製開発）の講師を担当。本プログラムではハンズオンの進行をつとめます。

【木村悠佑】平成28年香川大学事務職員に採用。これまで法学部学務係、給与福利課を経て令和7年度から現職。給与福利課在籍時より情報システム課を併任し、Microsoft Power Platformを使用した内製開発を実践。本プログラムでは香川大学のDX推進の考え方や実施内容について講演を行います。

【岩河朱音】令和8年香川大学情報部情報システム課採用。学生時代はDX推進研究センターDXラボ学生スタッフとしてシステム内製開発の業務に従事。学内外向けのハンズオン（Microsoft Power Platformを使用した内製開発）の講師などを担当。本プログラムでは香川大学のDX推進開発事例の共有を行います。

【武田啓之】平成16年香川大学職員採用。令和3年から情報企画課の業務に従事。本プログラムではハンズオンの補助をつとめます。

【渡部昌尚】令和4年香川大学職員採用。情報基盤課（インフラ基盤）/システム課（基幹システム対応、学内DX）の業務に従事。本プログラムではハンズオンの補助をつとめます。

プログラム概要

香川大学はプロ開発者組織である「DXラボ」を組織し、大学業務システムの内製開発を2021年度から行ってきました。そのノウハウを活かし、非情報系職員が自らも開発を行うスキルとして獲得できる「内製開発ハンズオン」を実施してきました（2026年4月時点で65回開催、2800名以上の参加）。DX推進の担当者からのインプットトークと、開発の一部を体験するハンズオンとなっています。

日本の教育機関が無償契約できるMicrosoft Power Platform AI ライセンスの範疇で、大学でよくある業務を題材としたFormsでの申請、Power Automateでの自動化、SharePointへのデータ保存し、保存されたデータを可視化する入門的内容を体験していただきます。

参加者がそれぞれの大学に戻っても実践できる講習内容になっております。DXってなんだろう？と感じていらっしゃる方も、自分の業務を改善するキッカケにさせていただけると考えています。

準備物・事前課題

なし（会場のPCと、香川大学が発行したIDを用いる想定）

主な受講対象者

1. 普段の業務でOffice系ソフトを使って業務が行えていること。
2. Microsoft Power Platformの利用経験は問いません。

3. また、本ハンズオンの受講対象は以下のとおり
- ・これから市民開発者としての活動が求められている人
 - ・DX 活動をしたいと思いつつ、第一歩が踏み出せていない人

到達目標

1. 香川大学の DX 推進におけるキーワードと、それを具体化した戦略や取り組みを知ること
2. 業務に使えるシンプルなシステムが簡単に開発できると思えるようになること
3. 業務に関するデータを簡単に可視化できることに気づくこと